

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 聖心女子学院中等科  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒108-0072  
東京都港区白金4-11-1  
 E-mail : \_\_\_\_\_  
 Website : <http://www.tky-sacred-heart.ed.jp/ck/>  
 児童生徒数：男子 0名 女子 382名 合計 382名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 奉仕活動 ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

### ① 国際理解

#### 中等科全学年

英語や社会の授業を通して、広い世界について学び、グローバルな視点を持つことを学んだ。

### ② 平和・人権

中等科の総合的な学習の時間では、「いのち」をテーマに様々な活動を実施している。

#### 中等科 1 年

NPO法人ホロコースト教育資料センター代表の石岡史子先生の講演を聞き、「ハンナのかばん」を通して平和について学習した。

#### 中等科 2 年

障がい者理解の入門となる学習をし、筑波大学附属盲学校の方や、手話通訳士の講演をうかがうことをスタートに、学年を二分して、「手話」または「点字」を学んだ。「手話」選択者は手話サークル「て」との方々の指導を受け、「点字」選択者は点字版の使い方などを学んだ。最後には実際にコミュニケーションの場として、関東聴覚障害学生懇談会の学生をお招きし、交流会を開いた。

#### 中等科 3 年

公民科の学習の一環として、裁判所(東京地裁)で裁判傍聴を行い、人権等について考え、グループでの発表をした。

### ③ 環境

#### 中等科 1 年

学校近辺の掃除をし、環境やゴミの問題について学ぶことが出来た。

#### 中等科 2 年

夏の奥日光キャンプを通して、環境問題や自然を守る取り組みを知った。電気・ガスのない生活を体験することにより、自然と共に生きる大切さを知り、山登りや不自由な共同生活を体験することで、友人や家族への思いやりの気持ちが芽生えた。

#### 中等科 3 年

青森でホームステイをし、農業や林業の体験学習を行い、環境や自然について学んだ。

### ④ 奉仕活動

#### 中等科全学年

老人ホームや保育園など、全校生徒が奉仕活動を行い、中等科 2 年は自ら活動先を探し、ボランティアを行った。そして奉仕委員会の活動として老人ホームのために拡大カレンダーを作成、フィリピンの台風のための募金活動、クッキーセールの売り上げの寄付など、年間を通して様々な団体に寄付をした。また、岩手県釜石市の子供たちに手作りのクリスマスカードと図書カードを送った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）